

# 絆 芥川かおる 市政レポート



第2号 広報誌「絆」  
 芥川かおる後援会  
 発行日：平成25年8月1日  
 事務所：座間市入谷5-1874-5  
 発行責任者：野口利夫

～KIZUNA～

平成二十五年

## 第二回(六月)定例会

〓 当選後、早3回目の定例会、皆様  
 の市政への代弁者として、全ての定  
 例会で登壇し、質問する事を目指し  
 頑張っております〓



### (質問) 中学校給食について

現在、本市の中学校では、家庭での愛  
 情弁当、業者弁当でのミルク給食がこれ  
 まで実施されてきております。平成19年  
 に市民の方から中学校の早期完全給食実  
 施についての陳情があり、平成21年7月  
 に本市における中学校給食あり方検討委  
 員会、平成23年5月に学校給食庁内検討  
 委員会が設置され、調査・検討・協議が  
 され、デリバリー方式の方向性が示され  
 ました。しかし、デリバリー方式を導入  
 している近隣自治体の喫食率は図表の通  
 り50%以下が大半であり、更に平成22年  
 7月に保護者、生徒、教職員に実施した  
 アンケート調査で、デリバリーを希望す  
 る保護者は非常に少ないとわかりました。

教育長として、デリバリー方式への  
 近隣自治体の低い喫食率、そして本  
 市の保護者をはじめとして、希望者  
 の少なさをどう認識しているのか、  
 お聞かせください。

〔教育長答弁〕

近隣市でのデリバリー方式の喫食  
 率の低さは承知しております。本市  
 でも、同様の結果が考えられます。  
 平成22年に行ったアンケートの中  
 生徒の54%程度が家庭弁当を含め現  
 在の弁当でよいという意見でした。  
 又、生徒が親に弁当を作ってほしい  
 との声が多くなっていると聞いてお  
 ります。そのことも含め再度デリバ  
 リー給食についての理解を深めるこ  
 とを目的に、アンケート調査を実施  
 したいと考えております。

(図表) (平成25年5月1日現在)

平成24年度近隣自治体の デリバリー喫食率	
海老名市	32.90%
愛川町	39.60%
相模原市	49%

(平成22年7月座間市アンケート結果)

デリバリー給食を希望する アンケート調査	
保護者	19.60%
中学生	16.10%
教職員	4%

〔再質問〕

デリバリー給食を理解していない  
 保護者が多いのも現状かと思いま  
 す。是非わかりやすく、理解深めるこ  
 の出来る内容で実施して頂きたいで  
 す。また、もしデリバリー給食を取  
 り入れるとするならば、愛情弁当と  
 選択制になるのでしょうか。

〔教育長答弁〕

デリバリー給食への理解を深めて

いただく様、アンケート調査をして  
 まいります。又、デリバリー給食を  
 実施する場合は、家庭弁当との選択  
 制になると思います。

### デリバリー給食の大きなメリットとデメリット

- ＜メリット＞
- ①市の栄養士が献立を作る為、  
 栄養バランスの良い食事提供が可能
  - ②配膳時間が不要な為、  
 授業や放課後の活動への影響が少ない
  - ③家庭の状況や時節などにより、  
 家庭弁当とデリバリー給食の選択が可能
- ＜デメリット＞
- ①食中毒があった場合  
 食数が多い為影響が大きくなる
  - ②前払いの為、直前での  
 キャンセルができない(注文は月毎)
  - ③急な注文に対応できない

### (質問) 防災・減災について

災害時における緊急車両など公用  
 車の燃料供給についてですが、現在  
 本市においては、神奈川県石油業組  
 合高座支部座間部会との間で、市内  
 において発生した地震・風水災害等  
 において、応急措置業務に従事する  
 自動車に対し、燃料の供給が厳格適  
 正に行われる様、供給に関する協定  
 書が昭和59年5月29日に結ばれてい  
 ます。しかし、東日本震災直後には  
 燃料不足となり、市内のガソリン  
 タンド前では自家用車輻への供給の  
 為、長蛇の列ができていました。そ  
 こを優先的に公用車に対し供給がさ  
 れたことに、市民の方からの苦情が  
 寄せられました。確かに何時間も  
 待っている方々の感情も理解できな  
 くはありません。そこで、そのよう  
 な混乱を少しでも避ける為に、キャ

いつでも市民目線！  
 皆さまのお声をお聞かせください。  
 市政へのご相談は…⇒  
 〒252-0024 座間市入谷5-1874-5  
 Tel:046-240-7616 Fax:046-240-7793

ンプ座間基地内にあるガソリンスタンドと協定を結ぶ事が出来ないものと考えました。また、災害時に現在の石油組合座間部会との協定書が災害時に問題なく活かされるのか、改めて再確認の必要を感じます。

〔市民部長答弁〕

現在、災害準備及び災害救援活動に関する座間市と在日米陸軍基地管理本部との覚書に基づき、定期的に協議を進めております。その中で、基地内の燃料提供につきまして、協議事項として提案し確認してまいります。さらに、現在締結している全ての災害協定について更新内容の洗い出し等、整理を行っている最中です。石油業組合との協定につきましても、改めて確認を行ってまいります。

### 〔質問一〕消防行政について

現在、災害時の応援協力として、市工業会に避難場所等の対応協力の協定書が締結されています。そこで、緊急消防援助隊の活動拠点場所として可能なスペースの確保をお願いし、策定する防災計画に位置づけする事を3月議会で求めました。その後の協議状況をお聞かせ下さい。

〔消防長答弁〕

災害時、被害状況によっては多くの緊急消防援助隊が出勤してまいります。それらの部隊の拠点場所として、市立体育館や消防訓練所を座間市地域防災計画に記載してあります。民間用

地の確保は、あくまでも公用地の確保ができない時の補足的な場所と考えております。協議状況は東部地区2事業所に協力の説明を行い、検討していただいております。

### 〔質問二〕消防行政について

現在消防団では、教育訓練を始め非常収集訓練など様々な訓練が行われ基本となる礼式や、ホースなどの器具の取扱い等を学んでいます。昨今では東日本大震災を始め、消防団の活躍の場が増え、その重要性が再認識されています。本市でも、火災現場や4月の水防活動等、常備消防とともに連携を図った活動がされていますが、今後更に火災現場や災害現場では常に危険と隣り合わせであるという危機管理知識を学んでいかなければなりません。東日本大震災では253名もの団員の方が犠牲になりました。二度とそのようなことがあつてはなりません。これから1人の犠牲者も出さない為に、しっかりと知識を学ぶ講習会等を行う必要があります。消防団危機管理知識訓練に対する考えをお聞かせ下さい。



(消防団訓練にて)



(座間駅前にて駅頭活動)

〔消防長答弁〕  
多数の消防団の方が犠牲になったことは、大変残念なことと思っております。消防団の活動時の危機管理、安全管理教育については、各訓練ごとに必要な事項として実施しており、危機管理知識訓練は消防団の二次災害防止と必要だと考え、これからも取り組んでまいります。

## 《はじめの市政報告会》

※詳しくは座間市ホームページより  
市政・まちづくり▽座間市議会▽  
インターネット中継でご覧下さい。  
※〔災害時における危機管理体制〕の質問は  
議会だよりにてご覧いただけます。

入谷地区を中心とし、初めての市政報告会を開催致しました。この9ヶ月間の活動報告や現在の市政状況、キャンプ座間返還予定地の利用構想などを中心にお話をさせて頂きました。初めての試みであり、自分自身の思いや考えをうまく伝えられない部分もありました。しかし、お集まりくださった皆

様から貴重なご意見を賜り、地域での問題や市に何を求めたいかなどを伺う事が出来ました。報告会を通し市民の皆様誰もが理解できるような、市の財政状況、市の取り組みについて、いかに解りやすい説明をするかが重要だと感じました。また、地域での課題や問題などを真摯に受けとめ、その内容についての経緯や経過等の説明責任の重要性を改めて痛感致しました。今後も地域の皆様をはじめ、市民の方々の声を聞き、市政に反映してまいります。



## ぎまを歩こう!!

～シリーズII～

座間市といえばひまわりが有名なのはご存知ですか？1969年に座間市の市花に制定されてから市内の休耕地を利用してひまわりが植えられ、今では首都圏随一といわれる規模のひまわり畑となりました。座間の大地に咲く55万本のひまわり畑で毎年ひまわりまつりが開催されています。会場ではポニーの乗馬体験や、切花・農作物・特産品等の販売も行います。皆が笑顔になるひまわりまつり、ぜひご来場ください♪

開催終了一栗原会場：7/25(木)～30(火)一  
開催予定一座間会場：8/21(水)～26(月)一